

令和2年度 第2回沼津市立図書館協議会 議事録

日 時 令和3年3月26日(金) 午後2時00分 から 午後3時00分

場 所 沼津市立図書館4階 第1・2講座室

出席者 委 員 8名

匂坂会長、高地副会長、佐藤委員、佐野委員、露木委員、小島委員、吉田委員、
諸星委員

(欠席：清水委員)

事務局 6名

尾和館長、勝又事務長、仲泊事務長補佐、町田管理・事業係長、細倉図書係長、
凌主事

傍聴者 報道関係：沼津朝日新聞 市 民：1名

1 開 会

配付資料に基づき、図書館協議会の設置根拠、役割等について説明

2 会長挨拶

匂坂会長： 前回、昨年8月27日に開催された令和2年度第1回の会議で、本協議会の会長に選出された匂坂信吾です。本日はよろしく願いいたします。

2回目となる本日の会議は、本来、ぬまづ電子図書館サービス開始に合わせて、1月28日に予定されておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、延期となっております。それが本日開催の運びとなったわけですが、ご案内のとおり、静岡県内でも新型コロナウイルスの感染はまだまだ安心できる状況ではありません。そこで、事務局に会議の資料を事前に郵送していただき、委員の皆様にあらかじめお目通し願ひ、会議の時間を短くできるよう配慮していただきました。そのような中で、本日の会議は1時間を目安とし、15時までとなっておりますので、ご了承いただきたく存じます。

なお、前回の会議では、委員が発言する際、マイクを使用することができませんでした。今回はワイヤレスマイク2本を用意していただきました。マイクの使い回しは感染の危険があるということで、委員の発言で使用したマイクは職員の方が消毒し、次の発言者には別のマイクをお渡しするようにいたしますので、ご承知置きください。今日は特にこのアクリル板がそれぞれの前に準備してありますので、肉声だけではなかなか伝わらないということで、マイクをご用意いただきました。本日は限られた時間ではありますが、忌憚のないご意見、ご質問をお願い申し上げます。

3 ぬまづ電子図書館サービスについて

事 務 局： 1月末に中止となった協議会の際に発表する予定でありました「ぬまづ電子図書館」の概要及び操作方法等について、改めて説明いたします。

ぬまづ電子図書館は、令和3年1月29日にオープンいたしました。費用は1,980万円で、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を財源として整備しました。

では実際に、その利用方法を説明いたします。(スクリーンに端末画面を映し、操作しながら説明)まず、沼津市内に在住、または通勤・通学されている方で、沼津市立図書館の有効な利用者カードをお持ちの方がご利用いただけます。利用点数は1人5点まで、2週間借りることができます。特記すべき点は、通常の本とは別にさらに5点借りることができるという点です。

次に、私のIDとパスワードを入れてログインします。委員の皆様は沼津市立図書館の利用者カードをお持ちですので、ログインすることができます。まだ試していらっしゃらない方は、この機会に是非ご利用をお願いいたします。既に借りられている方については、更にたくさんの電子書籍をご利用いただきますようお願いいたします。

では、私が借りているコンテンツで、電子書籍の利用しやすさや、特徴を説明いたします。

(以下の内容を発表)

- ① うごく絵本 (『そらとぶパン』)
 - ・再生する。ストップする。10秒先送りする。
- ② 外国語対応の児童本 (『おおきなかぶ』日本語とドイツ語)
 - ・再生する (日本語とドイツ語)。ストップする。
- ③ 青空文庫 (『白夜』)
 - ・文字大小、縦横、音声、自動音声読み上げなどの設定を変える。

次に、借り方です。

- ① トップページからの借り方
- ② 特集記事を見ながらの借り方
- ③ フリーワード検索を使つての借り方
- ④ 10進分類によるジャンルからの借り方

ここで紹介した機能以外にも便利な機能がたくさんあります。現在、ぬまづ電子図書館は、1日当たり130冊借りられています。もっとPRし多くの市民の方に利用していただけるよう努めてまいります。

4 議事 (進行は勾坂会長)

- (1) 令和3年度資料整備予算について
事務局から配付資料に基づき説明

委員：ぬまづ電子図書館の方針はよくわかりましたし、そのような方針が良いと思います。予算額はトータルで変わっていないという説明がありました。紙の資料についてはかなり厳密な選定会議で選定をしていますが、電子資料を選定するにあたって、担当者が単独で決めるということではなく、紙の資料と同じように、方針に基づいて選定をすべきかと思いません。

また、地区センターの予算が減らされていて、ちょっと寂しいなと思いますが、これは例えば地区センターについては電子図書館の導入で位置づけが下がっていくため減っているのかなど、理由があれば教えてください。

事務局： まず初めの選定方法についてご説明します。電子書籍につきましては、事業を整備するにあたり選書委員会をつくりまして、選書委員10名程度で分担し選書しております。例えば児童係が児童本の選書をし、一般本については、1階2階の職員が選書した後、通常の選書会議と同じような選書方法で、皆で選んで購入しています。

来年度も、紙媒体の本は毎月の購入で、毎週選書会議を行っていきますが、電子書籍はだいたい3ヶ月に1回程度、選書会議を開催し、そこで選書し購入する予定です。沼津市で力を入れている事業や、子育て世代の方やパパママ世代に向けた本など、そういった考え方を踏まえて選書していきたいと思えます。

二つ目の地区センターにつきましては、一昨年度、第二地区センターが完成しております。地区センター図書室16か所の整備がほぼ全て終わりました。そちらの整備が終わった後、昨年度からはどこの図書館でも、例えば沼津市の図書館に本館があって戸田図書館があって、地区センター図書室が16あります。これらのどこからでも借りられてどこへでも返却できるシステムをTSUNAGARU Projectと名前をつけて、公表しています。以前は地区センターで比較的多くの本を購入はしていたのですが、本館にある本を予約し、例えば第二地区センターで、予約した本を借りられる、またそこで返したりですとか、本館で借りた本を他の地区センターに返却したりといったことができるようになりました。そのため、地区センター分の図書を少し減らして、その分、全体で種類を多く揃えようということとしております。よろしいでしょうか。

委員： ありがとうございます。よくわかりました。電子図書の先行事例をみると、事業者の言いなりになって選書している場合があるようなので、ぜひ職員主導で選書していただきたいと思えます。

(2) 令和3年度自主事業計画について

事務局から配付資料に基づき説明

委員： 来年度はぬまづ電子図書館の普及がメインになってくると思えます。ぬまづ電子図書館の開館記念イベントのようなものはありますか。

ぬまづ電子図書館の普及にあたって、例えば、先ほどのデモンストレーションのような体験会ができれば、もっと利用が増えると思えます。何か具体的にPRする方法を、考えていらっしゃるのでしたら教えていただきたいです。

事務局： ご質問ありがとうございます。ぬまづ電子図書館開館1周年イベントは、今のところまだ考えてはおりません。ただ、こちらの②に記載させていただきました、開館記念関連事業といたしまして、企画展の開催を予定しております。こちらは4月1日号の広報ぬまづで、ぬまづ電子図書館のキャラクターの名称を募集し、投票によりキャラクターの名称を決定します。また、このキャラクターに関する塗り絵を、来館したお子様たちに配布しており、3月中に提出していただいた方については、4月7日から4階展示ホールで塗り絵の展示を行います。4月以降提出していただいた方は随時追加で展示を行う予定です。

事務局： 後半のご質問のPRについて説明いたします。現在色々なところにぬまづ電子図書館開

館のチラシやポスターを配布しています。また、1月末に沼津市生涯学習課主催の出前講座に登録し、自治会や学校、幼稚園や保育園など、市民の方から要望や希望がある場合、そこに出向いて説明する体制を整えました。特に学校については、図書系の先生に連絡してPRできるように努めてまいります。

委員： ありがとうございます。要望ですが、図書館に関連することについて、12月の沼津市議会で取り上げられておりました。その中に、図書館が地域振興の核になる、職員のまちづくり活動への積極的参加に取り組むなどの質疑がありました。まちづくり活動などとも連携しながら、図書館活動をPRしてみたら良いのではないかと思います。

5 報告事項

(1) ぬまづ電子図書館の利用状況

事務局から配付資料に基づき説明

委員からの質問は特になし

(2) 開館時間変更（案）に係るパブコメの実施

事務局から配付資料に基づき説明

委員からの質問は特になし

6 協議会委員の辞任について

清水委員が人事異動により、佐藤委員がご退職により3月31日をもって協議会委員の職を辞することを説明した。

7 図書館職員の人事異動について

事務長補佐が人事異動することを説明した。

8 閉会